

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年5月15日（水）午前9時30分から11時30分まで

2 場所 静岡南部特別支援学校 3階 小会議室

3 出席者

(1)学校運営協議会委員

地域コーディネーター、静岡市社会福祉協議会センター長、NPO 法人ひまわり副理事長、小鹿こども園 園長、静岡済生会療育センター令和 療育支援課主幹、西豊田小学校 PTA 会長、本校 PTA 会長

※欠席1名

(2)本校職員

校長、教頭、事務長、部主事、訪問主任、教務主任

4 内容

- ・校長挨拶

 - 学校運営協議会の趣旨説明

 - 学校運営協議会委員の任命

 - 地域コーディネーターの依頼

- ・自己紹介

- ・学部等の紹介

- ・授業参観

- ・令和6年度学校経営計画について

- ・令和6年度学部等経営計画

- ・授業参観、学校運営に関する意見等

5 議事録

【学校より】

◎地域とのつながりを大切に考えている。

- ・学校のことを地域の方に知ってもらうための具体的な取り組みについての紹介。今年度、発信に力を入れている。

- ・児童生徒が地域に出る機会が増え、地域の方との直接的な交流が学習の中で日常的に取り組みられるようになってきている。子どもたちの人とのかかわる力の向上につながってきている。

- ・地域の人材を活用させていただいていること、作品の発表の場として地域の施設を利用させていただくこと、ボッチャを通しての交流、学校間交流、といった地域の人とのかかわりが幅広いものになってきている。

【評議員より】

○地域との連携について

- ・コロナ5類感染症対応に移行し、地域との交流がしやすくなった。手厚い教育の中で交流ができ、人と人のつながりができている。生徒数減少の中で地域との交流を重点的にしてほしい。
- ・地域の中には元々「かわいそう」という感覚があった。しかし地域に出て、カフェ蔵で交流する子どもたちの姿を見て「がんばっている」という思いに変化している。交流は子どもたちの自尊感情を育てることにもつながっている。
- ・地域の方が集まる「カフェ蔵」は楽しい場。センター令和や学校の児童生徒数は減ってきているが、地域での交流を大切にしてほしい。

○参観の様子より

- ・参観をして、初めて学習の様子にふれることができた。授業がいろいろ工夫されている。ICTの活用で子どもたちが喜ぶ姿が見られる。今後も社会につながることにについて丁寧に取り組んでほしい。
- ・作品の取り組みについて参考になった。地域の施設でも取り入れていきたい。

○福祉サービスについて

- ・静岡市は子育てに力を入れている。自立支援法が施行されサービスが充実してきた。今は、昔とは違い、利用できるサービスを使って外に出ていく時代。
- ・この地域は障害への理解が深い。障害をもつ方も多く、サービス利用が充実している地域。かかわりを広げていきたい。
- ・障害を支える人の高齢化もあり、それをどう支えていくかを今まさに取り組んでいるところ。知らなかったということの無いように福祉サービスの理解を広げることが地域の皆さんとともに取り組んでいきたい。

○学校をとりまく動向および情報共有

- ・元の静岡視覚特別支援学校の場所がどうなるか、県内の特別支援学校についての動向についての情報共有。教場の狭小化改善の動きについての確認。
- ・地域の子ども園に通う、障害をもつお子さんの現状についての報告。